

令和7年度



赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り 令和7年9月4日(木)

校長 高橋 励



Dear Student(*~*)

夏の活躍、続報です!

~茅ヶ崎FMでON・AIR!~

その1 “エポシc調レディオ” 出演《放送部》

8月30日(土) 11:00~13:00

※井出教頭先生から当日の様子レポートです(*~へ*)

8月30日に茅ヶ崎FMで放送されたエポシC調レディオ「森川健康堂 presents アナウンスレッスン」に放送部の皆さんが参加してきました。



番組では、アナウンサーの石本沙織さんより発声練習、ナレーション練習、実況中継(食レポ)、ニュース読み練習を通じて、プロの技を学びました。アナウンスは声の高低、強弱、緩急をつけることで伝えたいことを強調することができる。また、伝えることの意味を理解してアナウンスすることが大切とのアドバイスを教わりました。

赤羽根中学校放送部はニュース読みが上手であるとほめられました。これは日々の昼の放送を担っている賜物と感じました。充実した2時間のアナウンスレッスンを受けました。これからの放送部の活躍、楽しみですね。

その2 “エボラジ LUNCH STATION” 出演

ホノルル市と姉妹都市である茅ヶ崎市は「禊子の折り鶴」を介して広島とのゆかりがあります(知らなかった人は“禊子の像”“茅ヶ崎”で検索!そのためのipadです!)。そんな茅ヶ崎市から今年のピーストレイン平和大使として広島へ行った6名(小学生3名・中学生3名)が、終戦記念日の8月15日(金)の放送に30分間ゲスト出演し、その一員として2年生の[]さんも参加しました(入選した作文を7月17日号で紹介していますが、読んでくれたかな?)。

ラジオ・パーソナリティの杉山玲子さんからのインタビューに答えながら、今回の体験から感じたことを大使の一人としてリスナーに向けて語る当日の様子をお昼の放送で流してもらえるよう放送部と交渉していますので、そのときにはぜひ温かな聴きかたで耳を傾けてほしいと思います(3年生は、修学旅行で触れたナマの広島を思い出しながら聴けるといいですね)。

自分の考えを発信したり、ふだんはできない経験をさせてもらったりできる機会って、案外身の回りにあるものです。ただ、その機会を自分に引き寄せてくるか来ないかはあなた次第だったりもします。

この「赤羽根の里だより」でも時折紹介してありますが、それ以外にも、授業の課題や校内のポスターや掲示物、職員室前のチラシ置き場に、あなたのための新しい経験へのトビラが開いているかもしれませんよ。そういえば、6月26日号で紹介した“社会を明るくする運動”の作文コンテスト、書いたのにまだ持ったまま、という人がいたら、至急わたし(校長)まで声をかけてくださいませ!ギリ間に合うかも知れません(*~へ*)